成田市議会議員

うつのみや高明

たか　あき

美しい地球を子どもたちに

01 安心して暮らせる成田づくり

○回復期リハビリテーション病院の整備等地域医療の充実
○地域包括ケア共同体等地域福祉の充実
○子ども・子育て支援事業の着実な実施
○成田に感染症拠点施設の新設
○国家戦略特区成田の「医学部新設」に関する多面的検討

02 成田国際空港の拡充とエアポート都市づくり

○2500m滑走路の 3500m化・第 3 滑走路への取り組みと騒音地区への成田方式の立案
○総合保税地域の設定と土地利用規制の緩和
○成田空港・東京駅〔36 分〕の都心直結線の早期実現
○地球的課題の実験村運動の推進

03 多様な「ものの見方・考え方」が出来る人材づくり

○教師の待遇改善と教師力の向上
（海外留学は教師の必須科目）
○基礎学力・体力等学校教育の充実
○教育費に占める公的支援の拡充
○成田・日本文化のより一層の学習

04 地域を担う新しい議会づくり

○政策立案機能の強化
（大学との提携、任期付職員の採用等）
○平成の大合併後の地方財政の検証
○これからの議員のあり方についての提言
○地方公職選挙法の研究

上　昌広 × 宇都宮高明

上　昌広　東京大学医科学研究所特任教授
対談
宇都宮高明　成田市議会議員

一般家庭の子供も入学できる医学部を成田に!!

先日、医療格差の本を執筆された尊敬する友人である上昌広先生（東京大学医科学研究所特任教授）の研究所にお伺いし国家戦略特区の中で、成田市に検討されている「医学部新設」について色々とご指導をいただきました。

宇都宮　上先生から親密なご指導をいただくようになったのは、2009 年の新型インフルエンザ騒動時に、成田でのご講演を快くお引き受けいただいたのが始まりですね。

その後、皆様のご指導で成田市で医療講演会を開催させていただいたのが、現在の国家戦略特区成田で検討されている医学部新設への流れになっています。

医学部の偏在は戊辰戦争からとの上先生のお話しには驚きましたが、この度「日本の医療格差は 9 倍―医師不足の真実」を執筆された上先生から見られた成田での医学部新設等についてどのようにお考えですか。

上先生　東京を除く関東圏は深刻な医師不足に悩んでいます。この問題を改善する上で、私は成田市の医学部新設に大きな期待を寄せています。詳細は、私の本の中で紹介いたしました「医学部の偏在―地方毎の人口当たりの医学部数」（表参照）を見ていただければお分かり頂けると思います。

しかしながら、従来型の医学部は高額な学費が必要です。これでは、医学部に進学できるのは、裕福な家庭に生まれた人に限定されてしまいます。医学部の教育コストを下げねばなりません。そのためには規制緩和が必要です。

幸い、成田市は国家戦略特区です。例えば、従来の規制である 600 床以上の大学付属病院が医科大学新設の必須条件にするのではなく、附属病院の要件を充たしている既存の成田赤十字病院との提携等により、医学部の授業料を引き下げ、一般の家庭の子供も入学できるような医学部を目指したらどうでしょうか。成田市民、日本国民に貢献するはずです。

医学部の偏在

地域	地方毎の人口当たりの医学部数 人口（万）	医学部数	人口/医学部
北海道	543	3	181
東北	910	6	152
東京	1330	13	102
関東（除く東京）	2939	9	327
神奈川	908	4	227
茨　城	293	1	293
埼　玉	723	1	723
栃　木	199	1	199
群　馬	198	1	198
千　葉	619	1	619
甲信越	530	3	177
北陸	303	4	76
東海	1505	7	215
近畿	2080	12	173
四国	391	4	98
中国	747	6	125
九州	1452	10	145
全国平均	12729	77	165

※この調査からは、卒業生が地元に残らないため、特殊な目的を持つ医科大学校である防衛大、産業医大、自治医大は除外した。※新潟県は北陸地方ではなく、甲信越地方に分類した。
※平成25年10月時点でのデータ。出所）総務省統計局人口推計

出典: 総務省統計局人口推計

上 昌広先生の新刊登場！

「日本の医療格差は９倍」
―医師不足の真実―

なぜ関東に医者は少ないのか？
なぜ医学部は西日本に多いのか？
なぜ金持ちの子どもしか医者になれないのか？

光文社

東京大学医科学研究所特任教授（先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門）。医学博士。1968 年兵庫県生まれ。1993 年東京大学医学部医学科卒業。1999 年東京大学大学院医学系研究科博士課程を修了し、虎の門病院血液科医員、2001 年～ 05 年国立がんセンター中央病院薬物療法部医員を務める。2005 年より東京大学医科学研究所先端医療社会コミュニケーションシステムを主宰し、医療ガバナンス、メディカルネットワークを研究する。

〒286-0037　千葉県成田市橋賀台2-4-1　TEL.0476-26-2620　FAX.0476-26-2517　E-mail:0220@t-utsunomiya.jp　http://www.t-utsunomiya.jp/

「千葉県さん、成田国際空港はあなたの県の空港ですね‼」

昨年の秋、空港対策特別委員会で視察した中部国際空港では、愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市の3県1市と名古屋商工会議所、中部経済連合会、空港会社の7団体からなる「中部国際空港利用促進協議会」を中心に、オール中部で中部国際空港を支え、より活性化していこうとの気概を強く感じました。

一方、来年（2016年）に閣議決定から50年をむかえる成田国際空港に対する千葉県のスタンスを「首都圏空港機能強化の具体的に向けた協議会（主催:国土交通省航空局）」の千葉県副知事の発言要旨から読み取ってみました。

『成田空港の容量拡大にあたっては、住民に対し、成田空港の将来像や騒音影響などについて、国及び空港会社による丁寧な説明を行い、地元の合意を得ることが前提と考える。

加えて、空港と地域との共生・共栄を目指して、これまで年月をかけて築いてきた信頼関係を維持することは極めて重要であり、そのためには、これまでの約束事項を確実に実行していくことが先決である。（平成27年1月開催）』

これからの成田国際空港を考える時、圏央道を活用して関東の他県との連携を含め、東アジアのハブ空港として「選ばれる空港」づくりを目指して千葉県、成田市、空港会社をはじめオール千葉の力を結集し「官民一体」での政策立案が求められています。

比べてください！　成田には、まだまだ可能性があります！

	成田空港	ヒースロー空港（ロンドン）	香港空港
敷地面積	1.151ha	1.227ha	1.255ha
滑走路	4,000m×60m 2,500m×60m	3,902m×45m 3,658m×45m	3,800m×60m 3,800m×60m
発着回数	２２６千回	４７２千回	３８３千回
航空旅客数	３０，４９０千人	６７，３２５千人	５９，２７４千人
航空貨物量	１，９４１千トン	１，５１５千トン	４，１２７千トン

出典:ACI統計（2013年）

Point!

成田の 2500m滑走路を 3500mにすることにより、他空港（表参照）のように空港機能の拡充整備が可能になります。
そのためには、騒音直下住民の希望移転を含めた成田市独自の騒音対策を並行して進めていかなければなりません。

「教育費ー家族主義から脱し、公的支援の拡充を‼」

「少子高齢化が急激に進む日本は、優秀な人材が家庭の貧富に係わらず大学に進学できる社会システムを創り上げる必要がある。今の日本のように、家族が教育費を負担するのが当り前という『家族主義』のままでは、稼ぎ手の親が倒れると大学進学は極端に難しくなる。『家族主義』を変え、家庭環境の激変があっても、子どもが自分の可能性を最大限に伸ばせる社会、教育を家族だけに任せない社会を構想する。」と「教育を家族だけに任せない―大学進学保障を保育の無償化から」の著者大岡頼充先生が「あとがき」に書かれています。

2月27日の日経新聞の「強いまち・データは語る」で成田市が「子育てをしやすいまち」の全国の上位に入ったのは、国際空港に近い土地柄を生かしての英語教育や国家戦略特区での医学部新設の提案等、教育都市として進化を目指している、との記事が載っていました。私は成田が目指すべき教育都市の指針に「教育を家族だけに任せない」を是非加わえ、公が支える社会づくりの先駆けになるよう努力していきます。

教育支出の公費割合は最低水準!!

Point!

日本は、奨学金制度など教育への公的支援が他の先進諸国と比べて不十分であると言われています。右表は、政府の歳出に対する公的教育費の割合をランキング(一部抜粋)にしたものです。

	国名	対歳出比	対 GDP
1 位	ニュージーランド	5.5%	1.9%
2 位	カナダ	4.7%	2.0%
3 位	ノルウェー	4.5%	2.6%
∫			
29 位	ポルトガル	2.1%	1.0%
30 位	日本	1.8%	0.8%
31 位	イタリア	1.7%	0.8%

出典: OECD - Education at a Glance 2014

「議員のあり方についての提言」

平成23年度の千葉県市議会議長会会長を務めさせていただいた時、県議長会の研修として「議会の政策立案機能の向上における弁護士の活用」について、私の遠縁にあたる当時の日本弁護士会会長の宇都宮健児弁護士にご講演をいただきました。

また、私も幹事を務めている「自治体学会議員研究ネットワーク」が平成25年度1年間季刊誌日経グローカル（月2回発行）から、「議会改革・現場からの提言」という連載ページをいただきました。私は地方議員年金制度が廃止された後も議員間でもあまり議論されず、政務活動費の事だけが問題となる「議員とお金」についてを担当しました。

こんなこと書かせていただきました！

議会改革　現場からの提言

「議員とお金」の議論を深めよう

明確でない議員報酬の考え方

政務活動費の十分な活用と使途公開を

議会費、事務局機能の充実も重要な要素

文責：成田市議会議員　宇都宮高明

うつのみや高明（たかあき）

昭和21年12月生。
愛媛県西予市市明浜町出身
家族　妻、子供2人

【議会歴】
成田市議会議長（第30代・第36代）
千葉県市議会議長会会長
関東市議会議長会副会長

大学時代

中央大学時代（昭和４０年～４４年）は、学生運動とベトナム戦争の真っただ中でした。この時、ベトナムの留学生支援を通じて現在「花と緑の運動」をしている素晴らしい仲間と出会い、以来４０数年共に活動をしています。

就職・組合

新東京国際空港公団へ入社。（昭和４４年～６２年）約８年間の用地部の大半は妨害鉄塔の用地交渉に没頭しました。空港のために土地を手放さざるをえなかった地主さんの心情は、今でも私の政治に取り組む原点です。また、空港の主体となることを目指して、労働組合を結成し、３期委員長を務めました。

政府交換留学

日本・メキシコ政府交換留学生として約１年間（昭和４７年～４８年）メキシコ北部の都市モンテレーに留学。ものの見方・考え方の多様性を学びました。

青年会議所

豊かな地域づくりを目指して積極的に活動している青年会議所での活動は、異業種交流の重要性を体験させてくれました。（昭和５６年・千葉ブロック会員大会委員長）

現在の活動

○成田市議会議員（７期）○市議会空港対策特別委員長○千葉県地方議員連絡協議会副会長○自治体学会議員研究ネットワーク幹事○成田ユネスコ協会副会長○成田ニュータウン自治会連合会副会長○成田ニュータウンスポーツ連盟事務局長○成田法人会成田ニュータウン支部支部長○成田市ホームビジット協会顧問○成田市体育協会理事○成田市ソフトボール協会副会長○成田市サッカー協会顧問○成田サッカースポーツ少年団顧問○中央大学北総学員会幹事○成田コスモポリタンローターリークラブ会員○成田青年会議所ＯＢ会会員○成田市国際交流協会会員○花と緑の農芸財団理事○日墨交流会副会長○構想日本会員

うつのみや高明「新・地方時代へ。成田から発信していきましょう！」
〒286-0037　千葉県成田市橋賀台2-4-1　TEL.0476-26-2620　FAX.0476-26-2517　E-mail:0220@t-utsunomiya.jp　http://www.t-utsunomiya.jp/